

## オーディオ実験室収載

### モーツアルト盤を聴く (72) (HP 収載) —最新アナログシステムでの試聴(72)—

#### 1. 始めに

前報(71)に引き続き、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を最新アナログシステムで試聴していきます。

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴方法

モーツアルトのアナログ盤の由来およびアナログシステムの状況は前報(1)のとおりです。今回は、LINN LP-12 を使用します。

前報(9)から、アース関係が仮想アース Crystal E の導入(7)で報告のとおり、仮想アース Crystal E の追加とアース専用ケーブル Clone 2 が加わっていますが、LINN LP-124 のシステムに関係するのは、ZANDEN Model120 のアースケーブルが Western の撚り線から Clone 2 に代わっていることです。

加えて、仮想アース Crystal E の導入(15)で報告しましたように、スピーカーケーブルの結線に自作の仮想アースを接続しています。

音源は、新たに入手したモーツアルトのアナログ盤を使用していきますが、今回も、ヴァイオリンと弦楽アンサンブルの協奏曲です。

##### DENON OX-7025-OD

モーツアルト ヴァイオリンとオーケストラのための協奏曲 1 番

ヴァイオリンとオーケストラのための協奏曲 2 番

ジェラルド・ジャリイ (ヴァイオリン)

ジャン・フランソワ・パイヤール指揮

ジャン・フランソワ・パイヤールオーケストラ

#### 2. モーツアルトのアナログ盤の試聴結果

DENON 盤ということで、Columbia、逆相、第 4 時定数 High で聴いていきます。ジャリイのヴァイオリンとバックのパイヤール指揮パイヤールオーケストラは生き生きと躍動的な演奏です。

DENON の PCM 録音ということで、少し潤い感に不足するところがありますが、切れのよい、明るい音です。

#### 3. まとめ

ターンテーブルアキュライザー、ダンパーフレック、Crystal E の導入の交換などの総合的な効果として、ジャリイのヴァイオリンとバックのパイヤール指揮パイヤール

オーケストラの演奏の DENON の PCM 録音らしさが掴めました、

以上